

当院救急における外国人患者さんの処方実態と課題把握のための医学系研究 に対するご協力のお願い

当院では、ご病気で入院・通院された患者さんの情報（年齢、来院方法、来院時間帯、転帰、処方薬の有無、処方形態（院外・院内）・処方薬の内訳）を用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

①研究課題名	当院救急における外国人患者の処方実態と課題
②実施期間	2025 年 5 月 9 日～2025 年 6 月 21 日
③対象となる方	2024 年 4 月 1 日より 2024 年 9 月 30 日までの間に、救急室において治療を受けた外国籍の方
④研究実施機関 及び研究責任者	<u>研究実施機関</u> <u>対象診療科・所属</u> <u>研究責任者</u> 京都市立病院 薬剤部 小野 勝
⑤本研究の意義、 目的、方法	日本を訪れる外国人数は増加を続けており、医療機関にも外国人患者受入れ体制の整備が求められています。当院では年間約 500 人の外国人患者を受け入れています。本研究では救急受診された外国人患者に対する処方の実態を電子カルテを用いて調査します。 調査の結果で得られた処方の傾向や課題を明らかにすることにより、今後外国人患者がより安心して受診できる体制構築につながることが期待できます。また研究成果を学会発表することで、救急領域で活動する薬剤師間での問題提起を行い、外国人患者受入れ体制の強化の一助となることも期待されます。
⑥使用する資料・情報 及び協力をお願い する内容	年齢、来院方法、来院時間帯、転帰、処方薬の有無、処方形態（院外・院内）・処方薬の内訳
⑦臨床研究倫理審査 承認日	2025 年 5 月 9 日
⑧研究計画書等の 閲覧等	本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。
⑨結果の公表	第 28 回日本臨床救急医学会総会（2025 年 6 月開催）で公表します。
⑩プライバシーの 保護について	本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
⑪研究の資金源	この研究に費用はかかりません。

⑫利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
⑬お問い合わせ	本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。 また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）から、情報の利用停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。 研究責任者：本多 あずさ 京都市立病院 薬剤部 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2 TEL：075-311-5311(内線 2103) 平日 8：30～17：15 E-mail：ahonnda@kch-org.jp